

病院を核としたまちづくり推進特別委員会記録

開催日時 平成29年6月14日(水) 13:02~13:22

開催場所 第1委員会室

出席委員 9名

山村 幸穂 委員長
中川 崇 副委員長
池田 慎久 委員
森山 賀文 委員
大国 正博 委員
中野 雅史 委員
荻田 義雄 委員
出口 武男 委員
小泉 米造 委員

欠席委員 なし

出席理事者 林 医療政策部長 ほか、関係職員

傍聴者 3名

議 事

- (1) 6月定例県議会提出予定議案について
- (2) その他

<会議の経過>

○山村委員長 それでは、ただいまの説明、またはその他の事項も含めまして、質問がありましたら、ご発言をお願いいたします。

○中川副委員長 その他の事項ですけれども、現在、奈良県総合医療センターと駅の間につきましてはバス等で結ばれている状況ですけれども、新奈良県総合医療センターに移った後のバス路線の新設や改廃などについて、奈良市民の方からお問い合わせがありましたので、現在の状況についてご説明いただけたらと思います。よろしく申し上げます。

○岡本新総合医療センター建設室長 新病院へのバスアクセス等についてのご質問でございます。

鉄道駅から新病院までのアクセスでございますが、来院される方の利便性、また、通勤される方、職員等の効率的な移動を考えまして、現在、新病院周辺の鉄道駅の既存バスの

活用を基本として検討を進めてまいりました。近鉄橿原線の西ノ京駅、近鉄郡山駅、そして近鉄奈良線の学園前駅と、新奈良県総合医療センターを路線バスで結ぶことにつきましては、現在、バス事業者である奈良交通株式会社と合意に至ったところでございます。

具体的には、西ノ京駅からの路線でございますが、現在の六条山行きバス路線を新奈良県総合医療センターまで延伸する。近鉄郡山駅からでございますが、既存の若草台行きのバスを新奈良県総合医療センターに乗り入れるといったことで奈良交通株式会社と協議をしております。また、学園前駅からの路線でございますけれども、既存のルートの再編等を含めて、現在、バスルートでの検討を行っている状況でございます。

2月の定例会以降でございますが、県立病院機構とも連携をして、新奈良県総合医療センターの職員であったり、また外来患者様のデータ等をもとに、今申し上げましたバスルート及び運行ダイヤ等につきまして、奈良交通株式会社と2回協議を重ねてまいりました。

最終的には、近畿運輸局への申請手続等が必要であり、奈良交通株式会社としては、年内を目途に結論を出したいという意見を承っております。

県といたしましても、引き続き、来院される方が安全・安心においでいただく交通手段の確保であり、また、職員の効率的な通勤手段を確保する意味から、引き続き、事業者である奈良交通株式会社との協議を重ね、できるだけ早期にバスルートの確定等に向けて努力してまいりたいと考えております。以上でございます。

○中川副委員長 ちょうど新奈良県総合医療センターと駅を結ぶところに住まわれている方から関心も高い事項でしたので質問させていただきました。また別途説明を受けたいと思います。以上です。

○山村委員長 そのほかにもございませんか。

○池田委員 奈良市平松の病院跡地活用について、1点だけお尋ねしたいと思います。

地元でまちづくり協議会を奈良県、奈良市、地元の各種団体の代表が集まって構成されるまちづくり協議会を、これまで開いていただき、今日まで至っているわけでございます。

この跡地活用につきましては、ことしの2月、あるいは3月、つまりは平成28年度中に基本構想を策定して、いよいよ具体的に進めていきたいという当初の予定だったわけです。けれども、奈良県としても、どのようなまちづくりがふさわしいのか、もう少し深く時間をかけて精査をしたいということで、以降、半年ほどたったわけでございますが、地元では、その後、きちんと前向きに進んでいるのかとか、何か大きな変更があったのではないかといった不安の声であったり、今後どうなるのだろうというさまざまなご心配の声

が私にも届いてまいります。時間をかけてしっかりいいまちづくりをするために時間をかけていただくことは、私もいいことだと思っておりますので、今見守っている状態ではありませんけれども、他方で、地元からはそういう声があると。ここはひとつ、できるだけ早い時期にまちづくり協議会を開いたり、あるいは地域住民に広報誌などを通じて、今の状態、状況について説明をしていく必要があるかと思っておりますけれども、どのようにお考えでしょうか、1点だけお聞かせいただきたいと思います。

○林医療政策部理事（地域包括ケア推進担当）兼健康福祉部理事 委員ご質問のように、まちづくり協議会はちょっと間があいております。少し予定が変わったということもありますので、今、おっしゃっていただいたような形で、どういう形がいいか、検討状況も含めまして、住民の皆様は何らかの形でお伝えできるようなことを考えていきたいと思っております。以上です。

○森山委員 県立医科大学の新駅についてご説明いただきたいと思います。県、櫃原市、鉄道事業者の3者で継続的に詰めた話し合いを進めていただきまして、現時点ではどのような状況にあるのかを確認させていただきたいと思います。

○河合知事公室審議官（医大・周辺まちづくりプロジェクト担当）兼医療政策部次長兼まちづくり推進局次長 医大の新駅の設置でございます。委員が今お述べいただきましたように、近畿日本鉄道株式会社、県、櫃原市の3者で新駅設置に向かって協議を進めているところでございます。

今、県としては、新駅をどの位置につくれば医大の利用者、あるいは周辺のまちづくりにいいのかという観点から、新駅の設置場所等の検討をしております。

3者で協議していく中で、一番の課題が、近畿日本鉄道株式会社から八木西口駅を移設する形で医大の新駅を設置してほしいと言われていたところでございます。この八木西口駅の扱いについては、周辺の利用者、住民、ご利用される方の問題などがございまして、大きな課題であると認識しており、いろいろ検討している状況でございます。以上でございます。

○森山委員 ありがとうございます。大体、流れとして、新駅に向けての選択肢というのは、今までは2つあるのかなと感じていたのです。八木西口駅がなくなって、新しい場所にできるというのが一つ、これがうまくいかなかった場合は、八木西口駅がそのままになる。この2つかと思っておりますけれども、八木西口駅を存続させたまま新しい駅をつくるというのも、その選択肢になっているのでしょうか。

○河合知事公室審議官（医大・周辺まちづくりプロジェクト担当）兼医療政策部次長兼まちづくり推進局次長 八木西口駅を残すか、移設という形をとるかということでございます。

先ほど申しましたように、近畿日本鉄道株式会社からは八木西口駅を移設するというところで新駅をつくりたいと言われております。それを前提で三者協議を進めていこうとしているわけですが、一方、橿原市は、八木西口駅を廃止するのはなかなか困難であるという意向であるというところでございます。

八木西口駅の扱いにつきましては、地元の橿原市が主体となって検討をしていただくことでございますけれども、残すか移すか、県としては、まず八木西口駅の利用実態の調査をした上で、現状の駅利用実態を検証して、八木西口駅が廃止された場合の影響を軽くする方策がないのかといった点を検討していくことも重要ではないかと考えているところでございます。

昨年度、橿原市において、八木西口駅の利用実態調査を実施されたところでございます。今後、なるべく早い時期に八木西口駅を移設して新駅をつくるのか、あるいは、もう一つの方策として、八木西口駅も残して新駅もつくるのかといった方向性とか、あり方が決定されるように、橿原市に求めていきたいと考えているところでございます。

新駅の設置につきましては、近畿日本鉄道株式会社、県、橿原市の三者で協議、検討を進めていくことにしておりますけれども、八木西口駅の存廃につきましては、近畿日本鉄道株式会社、橿原市、それぞれ意見がございますので、まだまだ検証が必要かなという状況でございます。県としては、新駅設置に向けて三者協議の場でしっかり協議していきたいと考えているところでございます。以上でございます。

○森山委員 ありがとうございます。

○山村委員長 ほかになければ、これで質問を終わりたいと思います。

それでは一言ご挨拶を申し上げます。

特別な事情が生じない限り、ただいまの構成による委員会は、本日の委員会をもって最終になるかと思っております。

一昨年5月より、委員各位には当委員会所管事項であります病院を核としたまちづくりの推進に関することにつきまして、終始熱心にご審議いただきました。また、理事者におかれましても、種々の問題について積極的な取り組みをしていただきました。

おかげをもちまして無事任務を果たすことができましたことを委員各位及び理事者の皆

様に深く感謝を申し上げ、簡単ではございますが、正副委員長のお礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(「ご苦勞さまでございました」と呼ぶ者あり)

それでは、理事者の方はご退室願います。ご苦勞さまでした。

委員の方はお残りください。

(理事者退席)

それでは、ただいまから本日の委員会を受けまして、委員間討議を行いたいと思います。委員間討議もインターネット中継を行っておりますので、マイクを使って発言をお願いします。

当委員会は設置後2年間を経過し、6月の定例会最終日の調査報告をもって終了いたしますが、最終日の調査報告にかかわる調査報告書案、委員長報告書案については、事前に各委員にお送りしております。

まず、事前にお送りしました調査報告案ですけれども、少し修正をさせていただいております。8ページの5の「おわりに」のところの中段の、「以上をもって」からのところに、2行目に「医大の将来像を見据えた大学・病院のあり方・将来像の策定」という文が入ってございましたけれども、医大の将来像については、4月に既にでき上がっておりますので、今回お配りした調査報告書案では、この「将来像の策定」という記述を削除させていただいております。あわせて、委員長報告案も同様の修正をさせていただいておりますので、ご了解いただきたいと思います。

その他、この案につきまして、ご意見がございましたらご発言をお願いしたいと思います。

(「はい、結構でございます」と呼ぶ者あり)

ありませんか。

それでは、意見がないようですので、若干の文言整理については、正副委員長にご一任願います。当委員会の調査報告としてよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

では、そのようにいたします。

それでは、これもちまして本日の委員会を終わりたいと思います。ありがとうございました。